

## はじめに

このテキストは、中学校で学習する内容をもとに、高校入試に十分対応できるだけの国語の力を養成することをねらいとして、つくられています。

文章を読むことは、まず、言葉の意味を知り、言葉の適切な用法を知ることから始まります。次に、一つ一つの文の意味を正しく理解し、文章全体の内容把握へと進むことになるわけです。

そこでこのテキストでは、初めに、漢字や言葉の知識を

〈国語の知識編〉で学習し、基礎力を確固たるものとします。

また、文章がある程度読めるようになって、限られた時間の中で読解問題の正答を得るためには、設問を解くポイントを知っておくことが重要になります。どこがポイントになるかを学習するのが〈基本演習編〉です。

漢字や言葉の知識が豊かになり、読解問題のポイントを理解したら、あとはいろいろな文章に接して実戦的な読解演習を積むことが大切です。〈読解演習編〉には、入試問題レベルのいろいろな内容の文章による読解問題が収められています。また、設問の中には、記述式の解答を必要とする表現力を試すものも多数とりあげました。

このテキストを最大限に活用することで、国語の力をのばし、一人一人が所期の目的を達成されることを期待しています。

## このテキストのしくみと使い方

### 国語の知識編

・ポイント……………学習の要点が簡潔にまとめられています。くり返し読んで、しっかり身につけましょう。

□ 確認問題……………ポイントのあとにある問題で、知識を確認します。

・練習問題……………領域ごとにまとめて復習します。

### 基本演習編

・例文問題……………ジャンルごとに文章を読み、かつ、設問を解くことで、

□ ……どこが読解問題のポイントになるのかを学習します。

・練習問題……………自分の力で問題を解くことで、「例文問題」で学習したことがらを定着させます。

### 読解演習編

・練習問題……………標準レベルの読解問題です。

□ 発展問題……………多少難しい読解問題です。

### 総合演習編

・総合演習……………テキストの総まとめです。

# もくじ

## ●国語の知識編

1	漢字・熟語の知識	4
2	語句の知識	8
3	文の組み立て	12
4	言葉の種類、体言	16
5	用言	20
6	副詞・接続詞・連体詞・感動詞	24
7	助動詞	28
8	助詞	32
9	言葉の識別	36
10	知識のまとめ	40

## ●基本演習編

1	文章読解の基本	44
——指示語・接続語——		.....

## 12 詩の読み方(1)

——情景・心情——

.....

88

## 13 詩の読み方(2)

——表現技法・主題——

.....

92

## 14 短歌・俳句の読み方

——短歌・俳句の特色——

.....

96

## 15 古典読解の基礎

——古文・漢文の基本知識——

.....

100

## ●読解演習編

1	小説の読解(1)	104
2	小説の読解(2)	108
3	小説の読解(3)	112
4	随筆の読解(1)	116
5	随筆の読解(2)	120
6	随筆の読解(3)	124

②	小説の読み方(1)	—— 場面・情景をとらえる ——	48
③	小説の読み方(2)	—— 人物の心情 ——	52
④	小説の読み方(3)	—— 主題をとらえる ——	56
⑤	随筆の読み方(1)	—— 筆者特有の考え方・感じ方 ——	60
⑥	随筆の読み方(2)	—— 心情・主題 ——	64
⑦	説明文の読み方(1)	—— 話題 ——	68
⑧	説明文の読み方(2)	—— 段落 ——	72
⑨	論説文の読み方(1)	—— 文脈のとらえ方 ——	76
⑩	論説文の読み方(2)	—— 文章構成 ——	80
⑪	論説文の読み方(3)	—— 要旨のとらえ方 ——	84

● 総合演習編

⑦	説明文の読解(1)	128
⑧	説明文の読解(2)	132
⑨	説明文の読解(3)	136
⑩	論説文の読解(1)	140
⑪	論説文の読解(2)	144
⑫	論説文の読解(3)	148
⑬	論説文の読解(4)	152
⑭	詩・短歌・俳句の読解(1)	156
⑮	詩・短歌・俳句の読解(2)	160
⑯	古文の読解(1)	164
⑰	古文の読解(2)	168
◆	総合演習(1)	172
◆	総合演習(2)	178
◆	総合演習(3)	184
◆	総合演習(4)	190
◆	総合演習(5)	196
◆	総合演習(6)	202